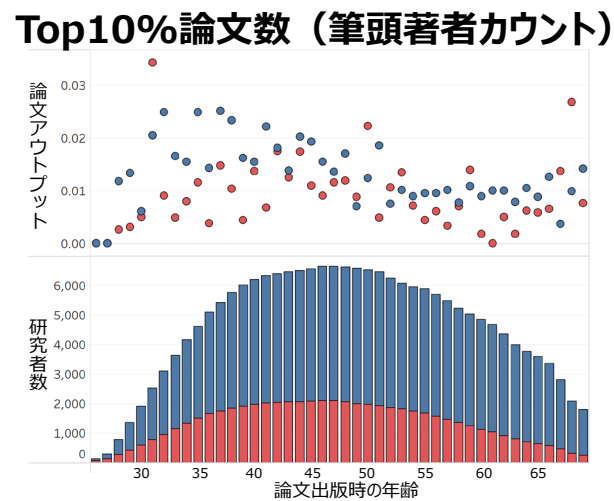
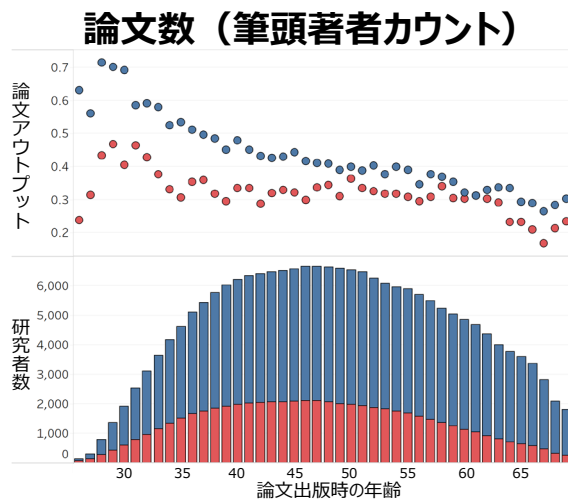
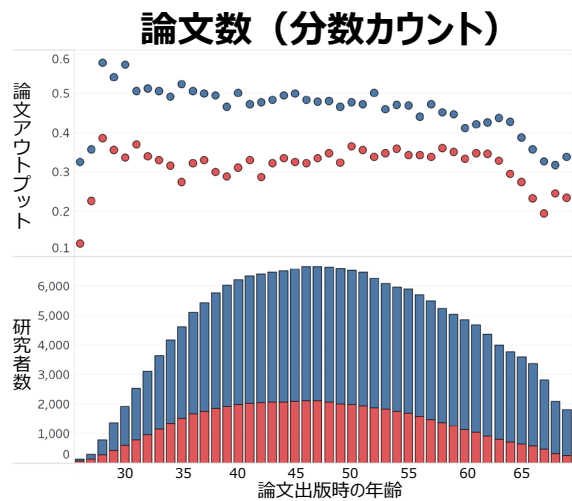


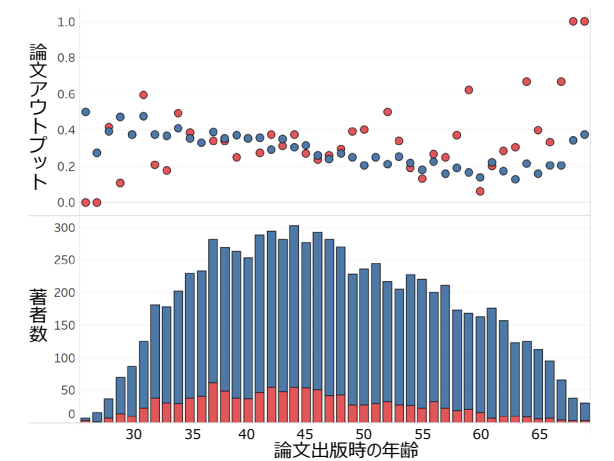
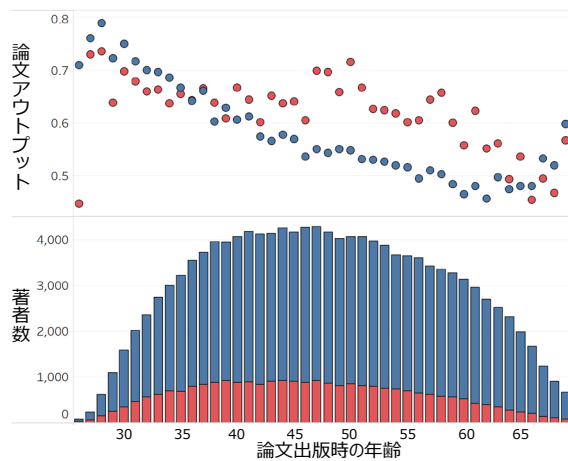
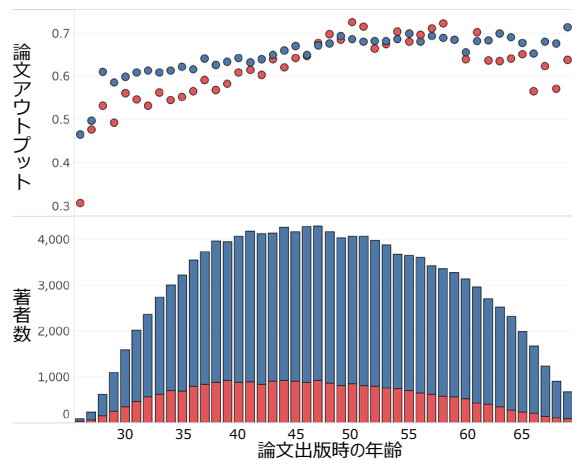
論文アウトプットの男女比較①：人文社会系

- 全研究者の比較では、1人あたり論文数に男女差が存在。
- 論文のある研究者で比較すると、男女の論文パフォーマンスの差は小さく、筆頭著者カウントでは、40代以降で女性の方が論文数が多い傾向も見られる。

全研究者*



論文のある研究者*



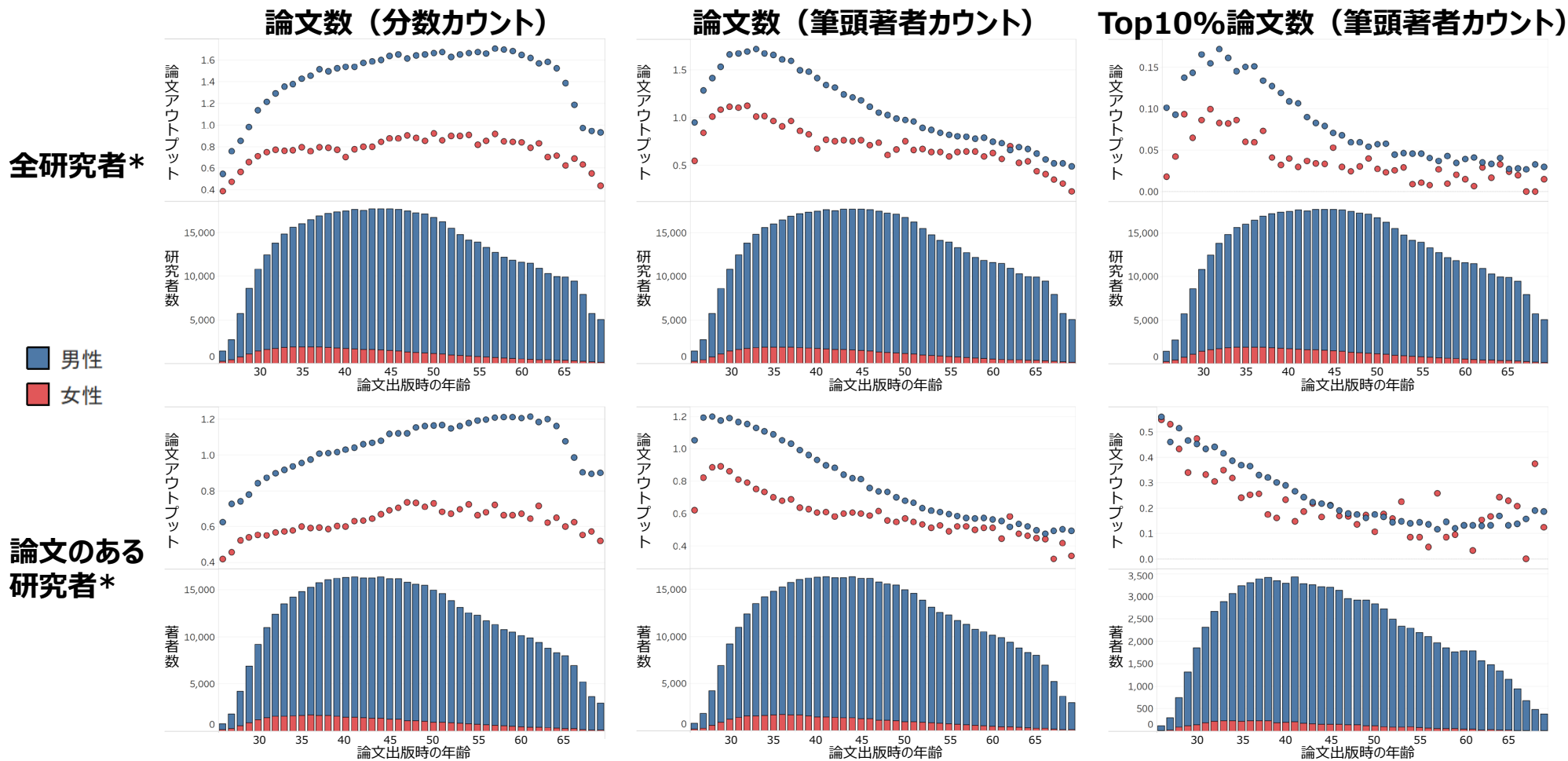
e-Radに収録されている研究者データと論文データ(出版年が2008-2020年の論文、Elsevierから購入したScopusとJ-Stageの統合データ(2021年12月時点))を利用して内閣府が作成。年齢は論文の出版年とe-Radの生年により推定。

*「全研究者」については、各年ごと論文がない研究者（e-Rad上に登録はあるが、研究を中断されている研究者も含む）も含めて集計している。分野については、各研究者の論文に付与された分野のうち、最頻のものを当該研究者の分野と推定して「研究者の分野」を設定。「論文のある研究者」については、各年ごと論文がある研究者を対象として集計しており、論文に付与された分野をもとに「論文の分野」を設定。いずれにおいても、Elsevierの分類表を参照し、「Social Sciences & Humanities」に該当する分野分類を「人文社会系」とみなしている。

(https://jp.service.elsevier.com/app/answers/detail/a_id/16205/supporthub/scopus/related/1/)

論文アウトプットの男女比較②：理工系

- 全研究者および論文のある研究者ともに、年齢の増に伴う論文数（分数カウント）の増加傾向は、男性の方が顕著に見られる。
- 全研究者および論文のある研究者ともに、若い時期の筆頭著者論文の数にも男女差が見られる。
- 論文のある研究者でみると、1人あたりTop10%論文数については、比較的差が小さい。



e-Radに収録されている研究者データと論文データ(出版年が2008-2020年の論文、Elsevierから購入したScopusとJ-Stageの統合データ(2021年12月時点))を利用して内閣府が作成。年齢は論文の出版年とe-Radの生年により推定。

*「全研究者」については、各年ごと論文がない研究者（e-Rad上に登録はあるが、研究を中断されている研究者も含む）も含めて集計している。分野については、各研究者の論文に付与された分野のうち、最頻のものを当該研究者の分野と推定して「研究者の分野」を設定。「論文のある研究者」については、各年ごと論文がある研究者を対象として集計しており、論文に付与された分野をもとに「論文の分野」を設定。いずれにおいても、Elsevierの分類表を参照し、「Physical Sciences」に該当する分野分類を「理工系」とみなしている。

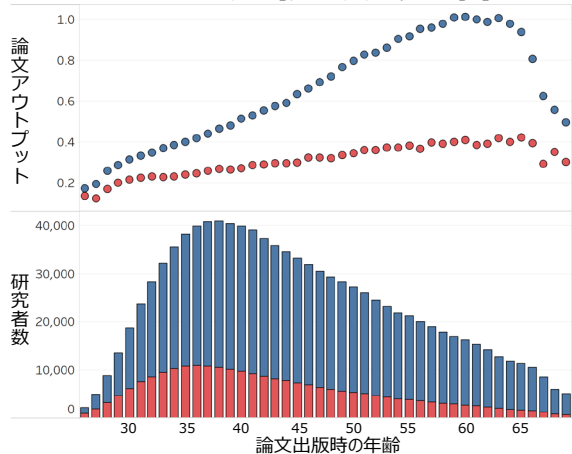
(https://jp.service.elsevier.com/app/answers/detail/a_id/16205/supporthub/scopus/related/1/)

論文アウトプットの男女比較③：生物系

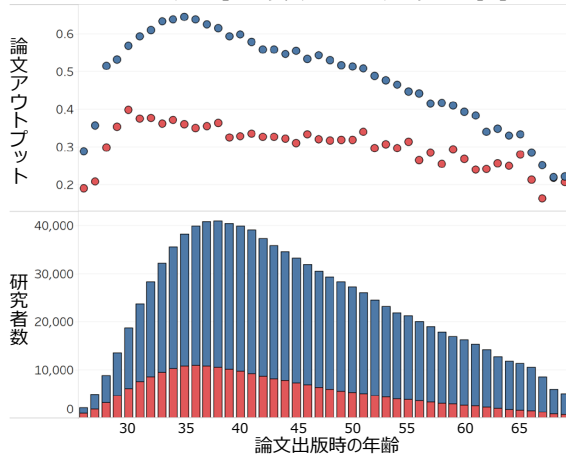
- 理工系と同様、年齢に伴う論文数の増加が男性で顕著であり、若い時期の筆頭著者論文の数にも男女差が見られる。
- 論文のある研究者でみると、1人あたりTop10%論文数については、比較的差が小さい。

全研究者*

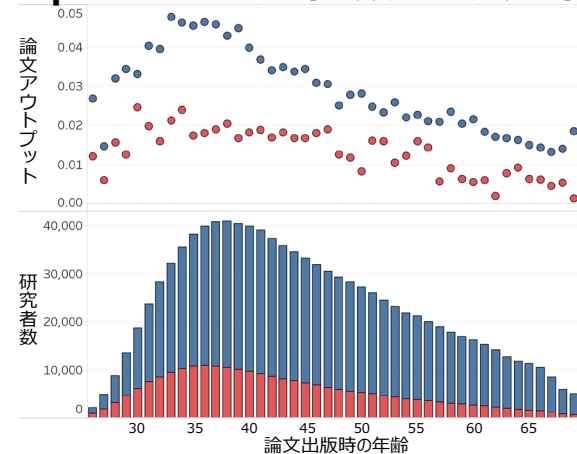
論文数（分数カウント）



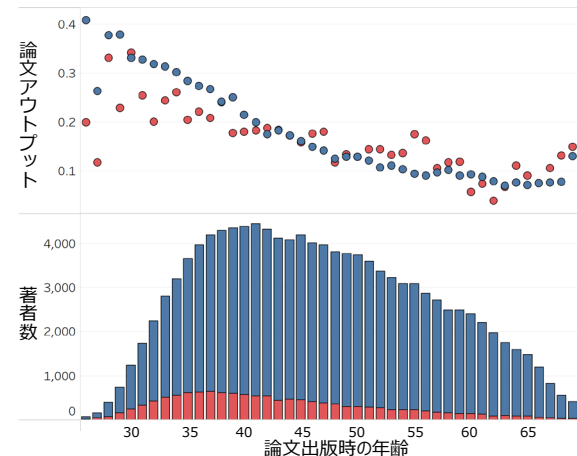
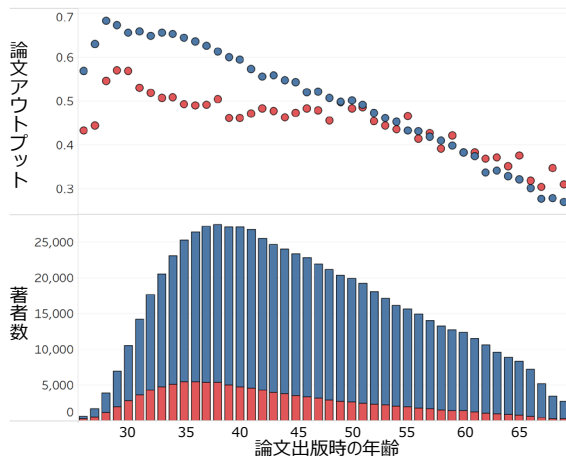
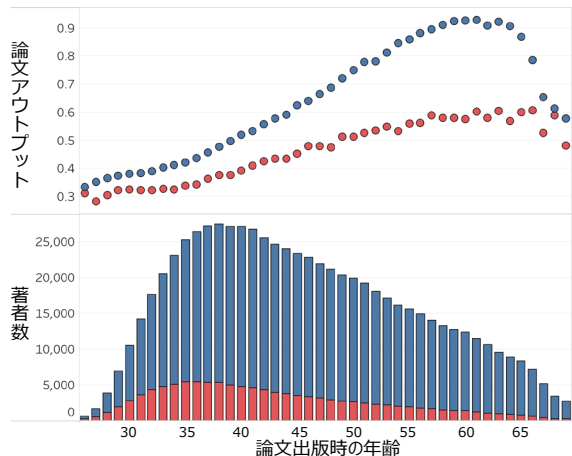
論文数（筆頭著者カウント）



Top10%論文数（筆頭著者カウント）



論文のある研究者*



■ 男性
■ 女性

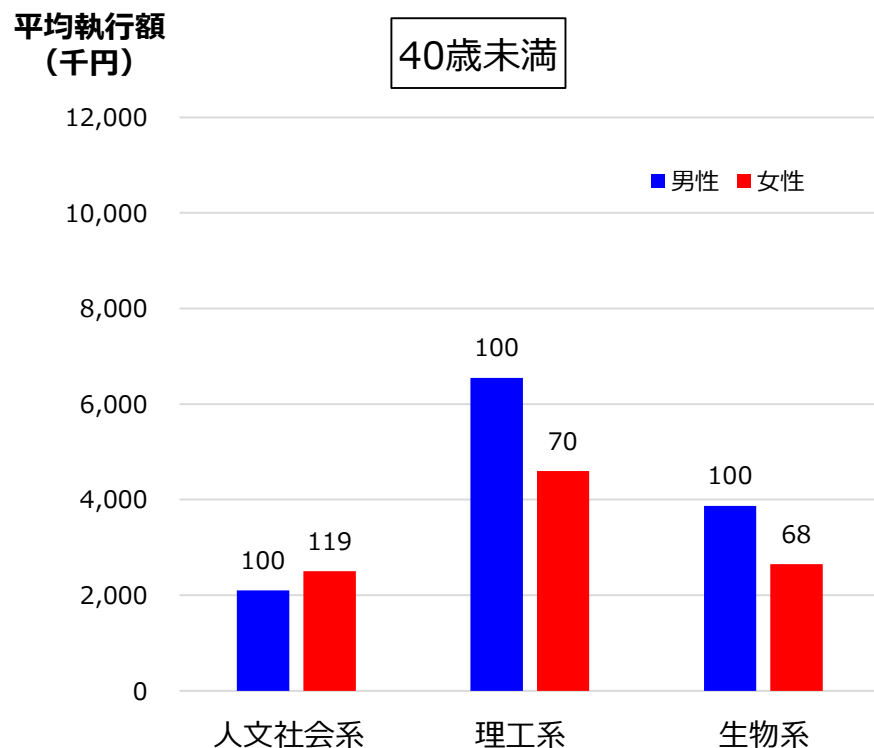
e-Radに収録されている研究者データと論文データ(出版年が2008-2020年の論文、Elsevierから購入したScopusとJ-Stageの統合データ(2021年12月時点))を利用して内閣府が作成。年齢は論文の出版年とe-Radの生年により推定。

*「全研究者」については、各年ごと論文がない研究者（e-Rad上に登録はあるが、研究を中断されている研究者も含む）も含めて集計している。分野については、各研究者の論文に付与された分野のうち、最頻のものを当該研究者の分野と推定して「研究者の分野」を設定。「論文のある研究者」については、各年ごと論文がある研究者を対象として集計しており、論文に付与された分野をもとに「論文の分野」を設定。いずれにおいても、Elsevierの分類表を参照し、「Life Sciences」「Health Sciences」に該当する分野分類を「生物系」とみなしている。

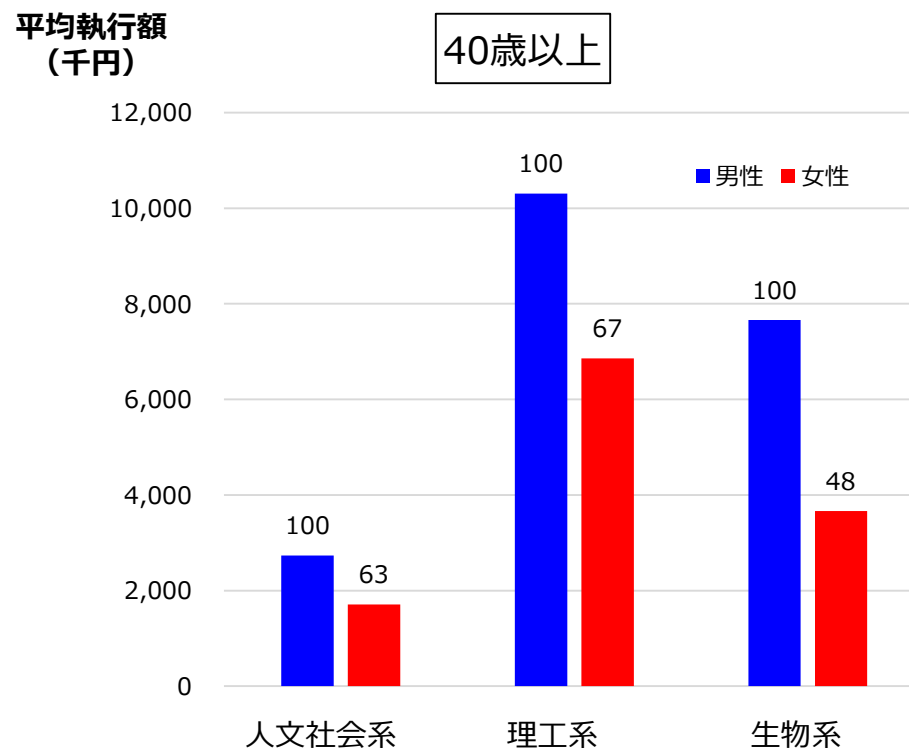
(https://jp.service.elsevier.com/app/answers/detail/a_id/16205/supporthub/scopus/related/1/)

男女の平均予算執行額①（分野・年齢別）

■いずれの分野でも、40歳以上では、平均予算執行額の男女差が拡大。特に生物系では女性は男性の半分以下となっている。



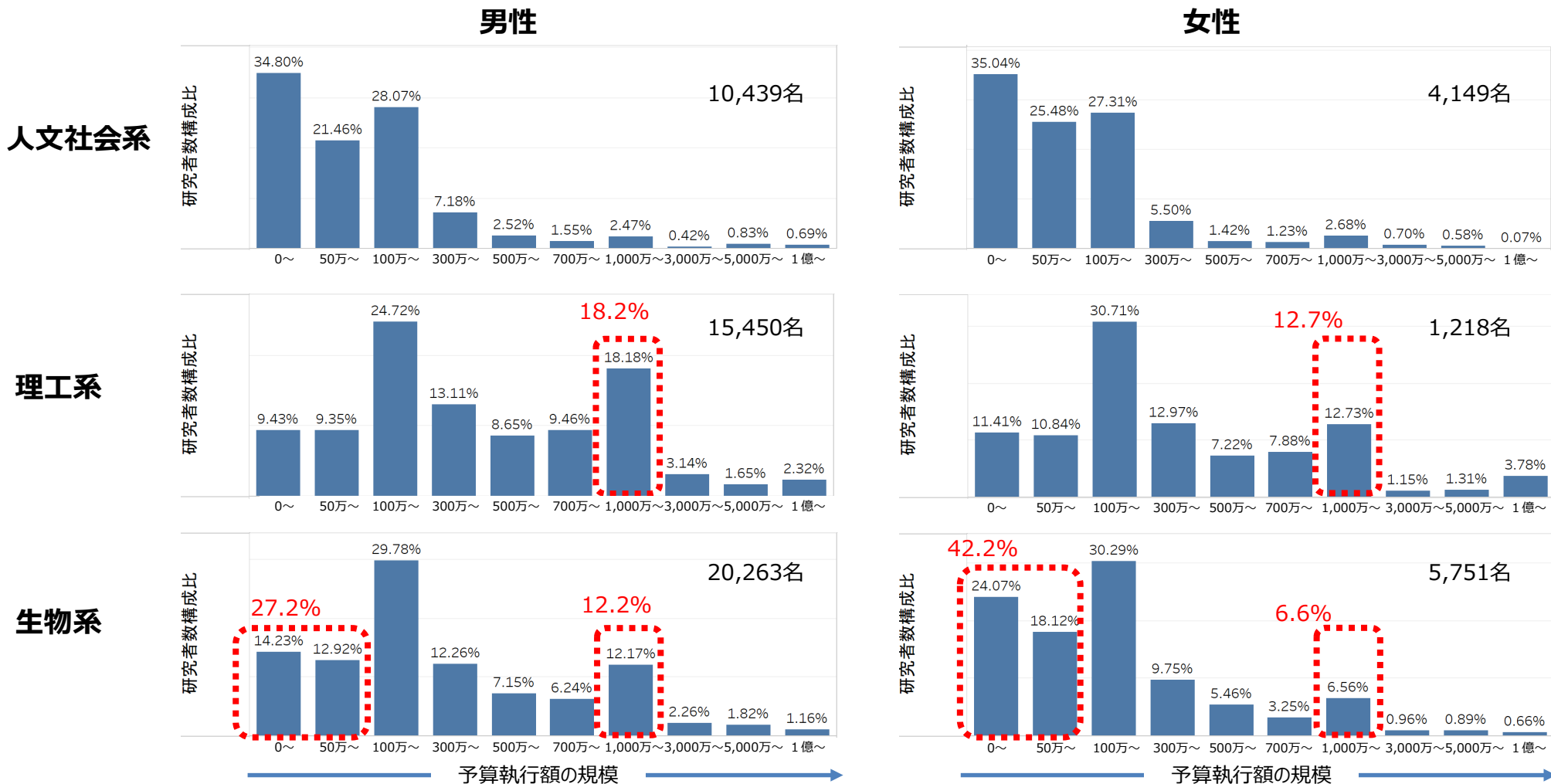
男(人)	1,073	3,135	4,042
女(人)	649	415	1,507
女性比率	38%	12%	27%



男(人)	9,366	12,315	16,221
女(人)	3,500	803	4,243
女性比率	27%	6%	21%

男女の平均予算執行額②（分野・規模別）

- 人文社会系は、男女による予算執行額の分布の差は比較的小さい。
- 理工系・生物系ともに、予算執行額1,000-3,000万円の女性研究者の割合が少ない。
- さらに、生物系においては、予算執行額100万円未満の女性研究者の割合が多い。



「研究力の分析に資するデータ標準化の推進に関するガイドライン」に基づき収集したデータ（2018-2020年度）を利用して内閣府が作成。

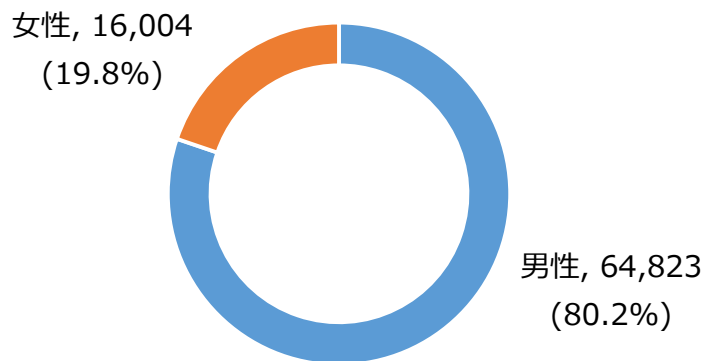
国立大学所属の研究者を研究費の主たる財源別に9区分に分け、その内「連交金50%超、科研費50%超、その他競争的資金50%超、国費50%超」の4区分の研究者を分析対象としている。

年あたりの予算執行額をもとに、研究者を10グループ（0円以上、50万円以上、100万円以上、300万円以上、500万円以上、700万円以上、1,000万円以上、3,000万円以上、5,000万円以上、1億円以上）に分類している。

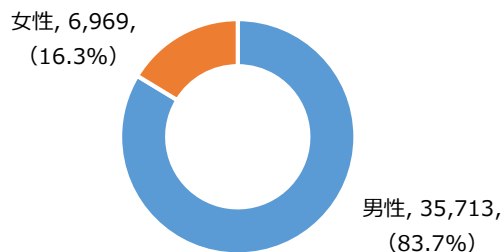
研究代表者に占める女性の状況①

■ 研究代表者となっている研究の課題数や、研究代表者として執行した予算額に占める女性研究者の割合は、研究者数全体に占める女性研究者の割合と比較して低く、特に科研費以外の競争的資金において男女差が大きくなっている。

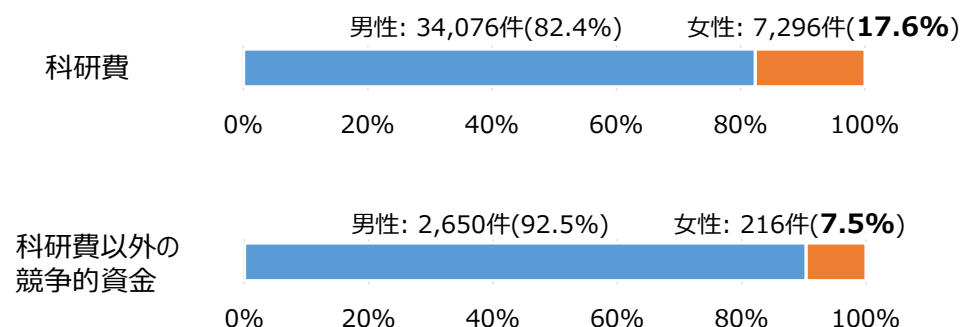
国立大学のe-Rad研究者数(2020)



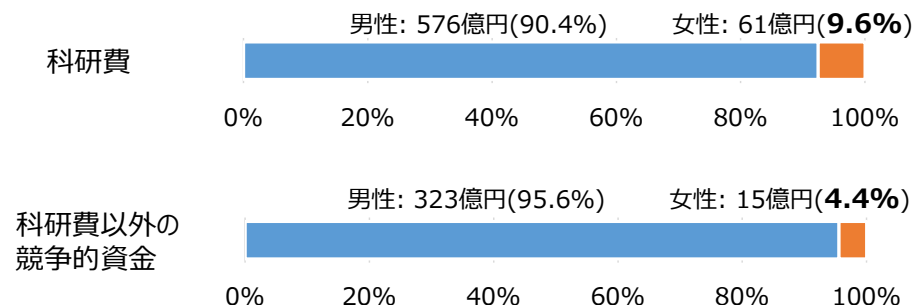
(参考) 国立大学の研究者数 (理工系・生物系)



研究代表者となっている課題数



研究代表者として執行した予算額

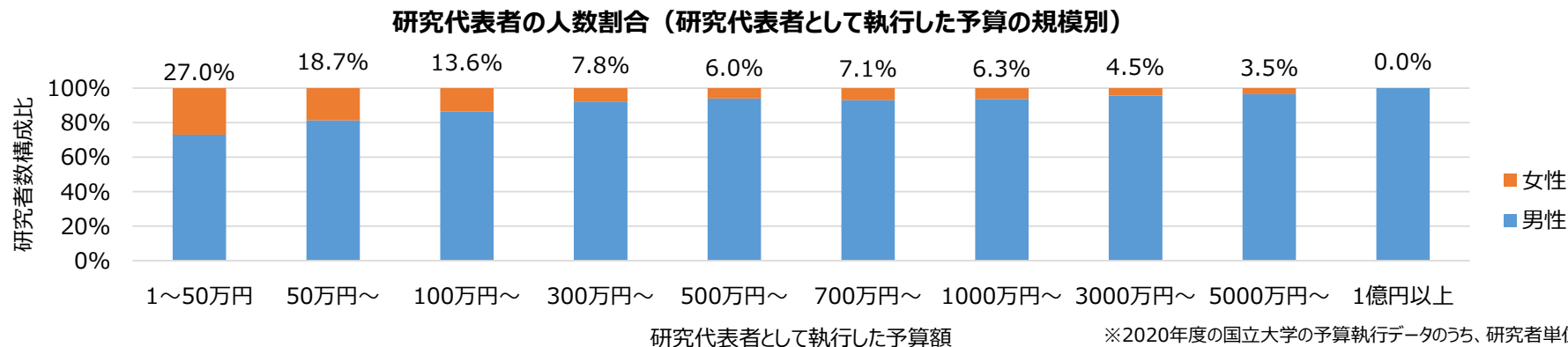


(参考以外) 2020年度の国立大学の予算執行データのうち、研究者単位で応募し、かつ研究代表者である課題数および予算執行額を集計。

(参考) 「研究力の分析に資するデータ標準化の推進に関するガイドライン」に基づき収集したデータ(2018-2020年度)を利用して内閣府が作成。研究者を研究費の主たる財源別に9区分に分け、その内「運交金50%超、科研費50%超、その他競争的資金50%超、国費50%超」の4区分の研究者を分析対象としている。

研究代表者に占める女性の状況②：予算執行額の規模別に見た研究代表者の女性割合

- 研究代表者として執行した予算の規模別に、研究代表者の男女別人数割合をみると、予算規模が大きくなるにつれて、女性研究者の占める割合は小さくなる。
- 主な競争的資金において、男女で採択率に大きな差はないが、応募件数では男女の差が大きく、規模の大きな資金を活用した研究に、女性が代表者として応募しにくくなっている可能性がある。



（参考）主な競争的資金における応募採択状況

		男性	女性	女性の占める割合
基盤研究(A) (2020-2022)	応募件数	6,263	468	7.0%
	採択件数	1,647	118	6.7%
	採択率	26.3%	25.2%	

基盤研究(B)	応募件数	30,795	4,275	12.2%
	採択件数	8,999	1,211	11.9%
	採択率	29.2%	28.3%	

基盤研究(C)	応募件数	103,613	32,265	23.7%
	採択件数	29,252	9,292	24.1%
	採択率	28.2%	28.8%	

若手研究	応募件数	32,347	12,666	28.1%
	採択件数	13,197	4,886	27.0%
	採択率	40.8%	38.6%	

		男性	女性	女性の占める割合
CREST (2020-2022)	応募件数	1,653	139	7.8%
	採択件数	153	14	8.4%
	採択率	9.3%	10.1%	

さきがけ (2020-2022)	応募件数	4,029	492	10.9%
	採択件数	446	62	12.2%
	採択率	11.1%	12.6%	

創発的研究支援事業 (2020-2021)	応募件数	4,178	673	13.9%
	採択件数	407	104	20.4%
	採択率	9.7%	15.5%	

※日本学術振興会「科学研究費助成事業（科研費）科研費データ」と科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業の応募件数・採択件数の属性別比較」「創発的研究支援事業の募集説明会資料」をもとに内閣府が作成。